

市長会見の項目（概要）

と き：令和4年1月27日(木) 14:00～

ところ：市政記者室

■ 大阪中之島美術館のオープン及び開館記念展覧会「みんなのまち 大阪の肖像」のメインビジュアルの完成

<担当：経済戦略局文化部文化課博物館支援担当 電話：06-6469-5180>【フリップあり】

- ◆ 大阪中之島美術館がいよいよ来週、令和4年2月2日（水曜日）午前10時に開館する。
- ◆ 昭和58年に近代美術館の建設を計画し、大阪市立美術館や東洋陶磁美術館とは異なる新たな魅力にあふれる美術館をめざし、これまで様々な議論や検討を行ってきた。
- ◆ そうしたなか、民間事業者ノウハウを最大限取り入れ、顧客目線を重視し、利用者サービスに優れたミュージアムとして大阪全体の都市魅力の発展・進化・発信のための拠点として開館できる運びとなった。
- ◆ この大阪中之島美術館では、「1 歴史をつなぎ、未来を創造する」、「2 情報や知識、発見や感動の循環をうながす」、「3 つながりをもととする」、「4 大阪に貢献する」の4つのビジョンが掲げられている。
- ◆ 開館後は、この4つのビジョンのもと、様々な展覧会を実施するほか「外部団体や市民のみなさんとの連携」や「共に学ぶ」をコンセプトに、市民のみなさんが参加できるワークショップや学校団体による美術館見学など様々なプログラムが実施される予定である。
- ◆ 美術館の建物も、1階から5階、また東西南北にかけて連続するオープンな空間となっており、この美術館の見どころのひとつとなっているので、従来の美術館利用者だけではなく、幅広い層の人々に来館してほしい。
- ◆ 開館を記念して、「超コレクション展 99のものがたり」や「モディリアーニ」展、「みんなのまち 大阪の肖像」がそれぞれ開催される。
- ◆ 今回、その中のひとつである、令和4年4月9日（土曜日）から開催する、わがまち「大阪」をテーマとした、「みんなのまち 大阪の肖像」のシンボルであり、みなさんに展覧会のテーマを視覚的に知らせるメインビジュアルが完成した。
- ◆ 2025年大阪・関西万博シンボルマークデザイナーのシマダタモツさんに、メインビジュアルを作成いただいた。
- ◆ デザインは、みなさんと「大阪」を共に分かち合うことをイメージし、北は豊能から南の泉州まで、東は生駒山麓から西の大阪湾臨海まで延びるこの豊かな大阪府域のかたちを、大阪中之島美術館のシンボルカラーの黒を基調にシンプルに力強く示すことを、コンセプトとして作成された。
- ◆ この展覧会は、関西一円の博物館、美術館、企業、個人蒐集家のみなさまのご協力を得て、大阪中之島美術館が大阪の地で誕生することを記念する、「大阪」を真正面から取り上げる展覧会である。
- ◆ 第1期は「大大阪」時代を中心とする戦前編、第2期は高度成長期、大阪の産業と文化の双方の発展を示す戦後編としながら、過去の紹介にとどまらず、未来へのつながりを予感させる構成となっており、大阪の発展を美術作品を通して満喫してもらいたい。
- ◆ これからの大阪中之島美術館に期待するとともに、末永くよろしく願います。